

## 2022 年 日本小児泌尿器科学会優秀論文賞 基礎研究部門

### Reduced urinary excretion of neutrophil gelatinase-associated lipocalin as a risk factor for recurrence of febrile urinary tract infection in children

山内 壮作 (関西医科大学 小児科学講座)

この度は 2022 年度の日本小児泌尿器科学会優秀論文賞を賜り、大変光栄に存じます。このような名誉ある賞を頂けたのは、関西医科大学小児科学講座の金子一成教授、辻章志先生、木全貴久先生をはじめ、研究に携わって頂いた多くの関係者の方々のご指導とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

小児における有熱性尿路感染症 (febrile urinary tract infection: fUTI) は、乳児の数%が罹患する頻度の高い疾患です。fUTI の再発は腎瘢痕をきたし、小児における末期腎不全の原因となり得るため、fUTI の再発を予防し、腎瘢痕の発症を抑えることは重要な課題と考えられます。

高度膀胱尿管逆流は fUTI の既知の再発リスク因子として有名ですが、他の再発リスク因子は明らかになっていません。

今回、尿路の内因性感染防御因子である尿中の好中球ゼラチナーゼ関連リポカリン (NGAL) の低下は、fUTI の新たな再発リスク因子であり、バイオマーカーとなる可能性があることが示唆されました。

現在、引き続き、他の再発リスク因子に関して、今回の研究とは異なる観点から研究を進めています。新たな知見が判明すれば、本学会で発表させて頂く所存です。今後も、小児泌尿器科学や本学会の発展のために微力ながら日々精進致します。まだまだ未熟者でございますが、今後ともご指導・ご鞭撻の程を何卒よろしくお願い申し上げます。